



まなびの輪

2007

3

月号

始まります「放課後プラン」事業！



平成19年度の新規施策として文部科学省と厚生労働省が連携を図り、「放課後プラン」を策定し放課後対策事業が全国展開されます。

本町においても、平成18年度まで地域子ども教室推進事業や放課後児童健全育成事業を実施しており、平成19年度からは子どもたちが放課後や週末、長期休業の時間を安全で安心して過ごせるように、心豊かで健やかに育つ環境づくりと少子化対策を目的として、4月9日(月)から町内のそれぞれの小学校で放課後プラン事業が始まります。

① 放課後スクール事業

日 程：毎週月曜～金曜日、放課後～午後5時まで（冬季は午後4時まで）
場 所：上富良野小学校、西小学校
対 象：1年生から6年生まで
帰宅方法：終了後、各自で通学路を帰宅していただきます。
登録条件：各学校児童であれば、どなたでも申し込みいただけます。
登録費：年間1,200円

○上富良野小学校・西小学校に通学している児童は、①又は②を選択してください。
○江幌小学校・東中小学校に通学している児童は、③の申込みとなります。

② 放課後クラブ（放課後児童健全育成事業）

日 程：毎週月曜～金曜日、土曜日、長期休業（春、夏、冬休み）放課後～午後6時まで
場 所：上富良野小学校、西小学校【西小学校区は土曜日、長期休業は、西児童館でおこないます。】
対 象：1年生から3年生まで
帰宅方法：終了後に、児童の迎えを保護者が行う。
登録条件：放課後の時間帯に居宅内外で労働の常態にある方や妊娠や出産の直後で児童の保育が困難であることなど
登録費：年間6,000円（年2回払い4月～9月3,000円、10月～3月3,000円）
その他：事業に申込みされる方は、「町税等の滞納者に対する行政サービスの制限措置等に関する条例」の施行に伴い、申込時に納税確認同意書を提出していただきますので、ご了承ください。

放課後プラン事業スタッフを募集！！

= 募集内容 =

指導員 1時間当たり670円です。平日3.5時間（月15日程度）、土曜、長期休暇（夏・冬・春休み）は1日4時間程度、スタッフとして子ども達と向き合い、遊びの指導や安全に過ごすための管理運営を行っていただきます。

募集対象 子どもが好きで、健康状態が良好な方です。年齢や資格は問いませんので希望される方はご連絡ください。

また、学術や文化、芸術等（カルタ、囲碁、将棋、芸能など）の指導をボランティアで行っていただける方も、ぜひお待ちしております。

③ みんなで遊ぼう教室

日 程：毎週1回、放課後～5時まで（冬季は4時まで）
場 所：江幌小学校、（東中小学校の児童は、西小学校放課後スクールに合流します。）
対 象：1年生から6年生まで
帰宅方法：終了後、各自で通学路を帰宅していただきます。
登録条件：各学校児童であれば、どなたでも申し込みいただけます。
登録費：年間200円

□詳しい内容及びお問合せは、社会教育総合センター ☎5511 までご連絡ください。

生涯学習情報

問合せ・申込み
社会教育総合センター
☎5511

護身術教室開催

自分の身は自分で守るため、少林寺拳法を基本とした護身術を学びませんか！

と き 3月23日(金)・27日(火)・30日(金)
18時45分～20時30分

ところ 社会教育総合センター武道館

参加料 1回100円(保険代)

協力団体 少林寺拳法上富良野支部

対象・定員 小学生以上、1回につき20名

締 切 3月22日(木)まで

その他 動きやすい服装、タオル

ミニテニス初心者教室

参加者募集！

手軽なスポーツとして広がっているミニテニス。ぜひ体験してみませんか！

と き 3月30日(金)18時00分～

と ころ 社会教育総合センターアリーナ

参 加 料 100円(保険代)

講 師 ミニテニスクラブ指導員

対象・定員 小学生以上、15名

締 切 3月29日(木)まで

そ の 他 動きやすい服装、運動靴、タオル、用具は教育委員会で準備します。

4月1日～30日まで

参加レンダー

4/6 金	いしずえ大学入学式	10:00～	か	社 ... 社会教育総合センター
19 木	女性学級開講式	10:00～	社	か ... かみん
28 土	イースターパーティー	13:00～	社	バ ... 上富良野町パークゴルフ場
29 日	パークゴルフ場オープン	6:00～	バ	

雪とアートで遊ぼう！

～in白銀荘～

2月17日(土)白銀荘でシーニックパイウェイ大雪・富良野ルートの協力のもと、14名の小学生と親子が参加し「雪とアートで遊ぼう！」が開催されました。

参加者はバスの中で雪博士(同行した北海道開発技術センター理事:原氏)より、「雪は天からの手紙」と題して、雪の結晶や雪ができるまでのお話を聞き、白銀荘ではルーペを使って雪の結晶を観察、その後中に移動し紙粘土を使ったミニチュア雪像づくりを行いました。最後の30分は十勝岳の大自然の中で思う存分雪遊びを楽しみました。



菅野達章さん(西小4年生)

「ルーペで雪の結晶をみて、紙粘土で工作をして、楽しかったです。雪の結晶がたくさんあることにびっくりしました。でも一番楽しかったのは、最後の自由時間でみんなで雪山から滑ったことです。」

いっしょに学びませんか？新入生大募集！

女性学級

○学習内容○
趣味の学習、社会見学、軽スポーツ、講話など月1回開催しています。

対 象 町内に在住し、1年間を通じて学習に参加できる女性の方

定 員 50名(定員になり次第、締め切ります)

年会費 2,000円(保険料含む)

申込み 4月6日(金)までに年会費を添えて、お申し込みください。



学
ぶ
こ
と
で
豊
か
な
人
生
を

いしずえ大学

○学習内容○
教養講座、研修旅行、講話、クラブ活動等月2回程度開催しています。

対 象 満60歳以上74歳未満の健康な町民の方

定 員 30名(定員になり次第、締め切ります)

年会費 3,300円(保険料含む)

申込み 3月30日(金)までに年会費を添えて、お申し込みください。



○この事業に申込みされる方は、「町税等の滞納者に対する行政サービスの制限措置等に関する条例」の施行に伴い、申込時に納税確認同意書を提出していただきますので、ご了承願います。

～ 3月の新刊書案内 ～

一般書

- ・拝啓、父上様
- ・水辺の光
- ・世間の辻
- ・最愛
- ・空の境界(上・下)
- ・海坂薄大全(上・下)
- ・私のスフレ
- ・喪失
- ・まとい大名
- ・夜は短し歩けよ乙女

- 倉本 聡
- 小池 真理子
- 沢田 ふじ子
- 真保 裕一
- 奈須 きのこ
- 藤沢 周平
- 林 真理子
- 森村 誠一
- 山本 一力
- 森見 登美彦

- ・いますぐたすけるぞ！
- ・ショベルカーのスクーブくん
- ・デカデカ
- ・でんきつけて！
- ・デージー、スパイになる
- ・悪霊はふりむかない
- ・おまけのじかん
- ・恋するトンザエモン
- ・森のネズミのさがしもの
- ・どろぼうの神様

児童書

- PHP研究所
- PHP研究所
- 長崎出版
- ひさかたチャイルド
- 小峰書店
- 岩崎書店
- ポプラ社
- 岩崎書店
- ポプラ社
- WAVE出版



- 上富良野町図書館 -

ふれんど通信

開館時間

10:00 ~ 18:00 (月曜日・祝日は休館)

問合せ TEL 45 3158

FAX 45 3562

「ぐるんぱ」読み聞かせ会 1年間 「ありがとうございました」

2月25日(日)図書館で「ぐるんぱ」による読み聞かせ会が行われ、平成18年度の活動がすべて終了しました。

当日は「ひな祭り」にちなんだ読み聞かせ会が行われ56名の親子が参加し、楽しい時間を過ごしつつも、慣れ親しんだ活動が終わることに名残惜しさも感じていました。

読み聞かせボランティア「ぐるんぱ」は旭川女子短期大学幼児教育学科に通う学生たちのサークルです。

昨年の5月に授業で作ったエプロンシアターや紙芝居を発表する機会がなく、多くの子どもたちに見てもらいたいということがきっかけで、メンバーの好きな絵本「ぐるんぱのようちえん」からグループ名をつけ活動が始まりました。計8回の活動で延べ257名の親子が読み聞かせ会に訪れ、彼女たちとともに楽しい時間を過ごしました。

メンバーの塩飽愛美さん、日戸理恵さん、参加者の加藤幸恵さん(泉町1丁目)、新原尚美さん(本町5丁目)にお話を聞きました。



塩飽愛美さん(写真左上)、日戸理恵さん(写真左下)

「1年間、本当にありがとうございました。最初は参加者が少なく、また私達も初めての事で不安もありましたが、回数を重ねるごとに課題が見え、子ども達に楽しんでもらいたいという一心で頑張りました。絵本のお話を聞く時の子ども達の真剣な眼差しや、工作などができた時に見せる笑顔はとても嬉しく充実感がありました。私達だけの力ではとうていできなかったこの「ぐるんぱ」は皆さんの支えや協力があってできたものだと思います。4月からは保育士になり社会人として第一歩を踏み出しますが、社会へ出る前にこのような体験をできたことは大変良かったと思います。」



また、昨年深川で開催されました、上川教育局主催の「絵本フェスティバル」に運営者として参加した時には、他の地域の方との交流もあり、子育てや保育に関するお話を聞くことができ、読み聞かせを通じて多くのことを経験できました。何でもやってみる前とは不安も心配もあります。しかし、必ず何か自分達の力になり経験になることがあると思います。これからも、いろんなことに積極的に取り組み、立派な保育士をめざして頑張っていきたいと思います。本当に1年間ありがとうございました。」

加藤幸恵さん(写真右の左側)

「今回初めての参加したが、子ども達もとても楽しそうなのでもっと参加すれば良かったです。今回が最後でとても残念ですが、また次を期待しています。」

新原尚美さん(写真右の右側)

「私も今月初めて参加しました。読み聞かせや親子での工作はこういう機会がないとできないのでとても良かったです。今後もあると嬉しいです！」



朗読ワークショップ ~心に言葉を届けよう！

1月29日(月)東中中学校で全校生徒を対象とし、講師に元HBCアナウンサー安藤千鶴子氏を迎え「舞台塾ふらの・そらち事業」による朗読ワークショップが行われました。

安藤さんは「声を出して言葉を伝えるとき、声の方向性が大切。北海道のような寒いところだと口が開かなくて声が届かなくなる。社会にでて上手にコミュニケーションをとることはとても重要なこと、声の方向性をしっかりと定め、相手の耳に届くのではなく、相手の心に声を届くようにすることが大切。また、コミュニケーションには聞く力も大切な事であり、よく話すためには、その倍以上に話を聞かなければならない」と話され、これから高校生、社会人へ成長していく生徒達にとってとても良いワークショップとなりました。

西木郁美さん(東中中2年生)

「ワークショップでは相手の心に言葉が届くようにするには、しっかりと声を出すことや声の方向性が大切だということが勉強になりました。これから高校生や大人になっていく私達にとってコミュニケーションを上手にとることの大切さがとてもよくわかりました。なんだか以前より声が大きくなった気がします！」

小松千香子さん(東中中2年生)

「安藤先生の声はとても素敵で魅力的でした。「あ」という発声練習は思ったより難しかったです。最後のグループに別れての詩の朗読では、場面を想像し、気持ちをこめて朗読することが大切だと勉強になりました。」

